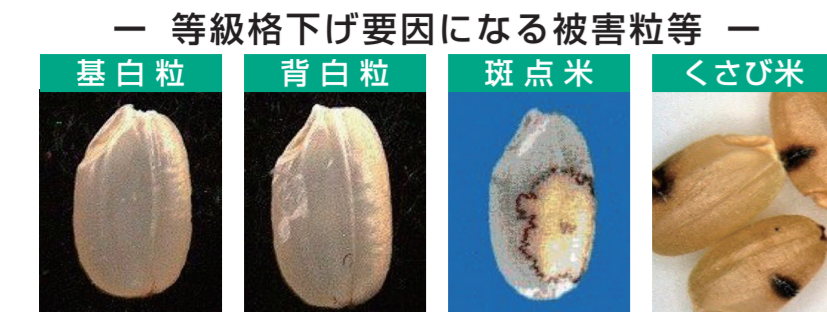


令和6年産稲作ごよみ



適切な管理でこれらの発生を減らしましょう。

気象変動に負けないコシヒカリを作ろう!!

なのはな農業協同組合 なのはな農協地区農業技術者協議会

1. 種子更新100%
2. 農産物検査の受検
3. 生産基準にもとづく生産履歴記載

上記3つの要件を満たしたお米をJA米として取扱います。

おいしいお米
なのはなブランド
「八町米」

「安全・安心」な米づくり
・出荷米の生産履歴記載率100%
・適正農業規範に基づくGAPの実践

月日	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
水管理	深水			浅水(チラ干しにしない)			中干し			間断かん水		

コシヒカリの栽培管理ポイント

土づくり

1 有機物の施用

- 牛・豚ふん堆肥 …1~2t/10a
- 発酵けいふん …100~150kg/10a
- 稲わらは全量すき込む
- 地力増進作物のすき込み(ヘアリーベッチ、レンガ)

2 土壌改良材の施用

- 珪酸石灰 …200kg/10a
- シンキョーライトP …60kg/10a
- シリカロマン …100kg/10a
- 新アサヒニューテツ …100~150kg/10a
- スーパーけいさん鉄 …100kg/10a

3 深耕し(現状+3cm)

- 秋耕しと春耕しの2回耕しが効果的

◎ 畦づくり ◎

水漏れ防止や20日間の湛水に備えた畦の高さの確保

丈夫な苗をつくる

計画的な育苗作業を田植日にあわせて

● 育苗日数は播種から19日間以内として老化苗にならないようにする
● 一箱当たり100gでカッチリ苗にする

換気の徹底

● 撤出直後から換気し、ハウス内の温度は昼間は25℃以下で管理する

代かきでの均平はていねいに行う

苗箱施薬による病害虫の防除

比重選から田植までのスケジュール

比重選・水沍・種子消毒	4月15日頃
乾燥	4月16日頃
浸種	4月17日頃
播種	4月26日頃
田植	5月15日頃

温度管理の目安

生育期	緑化期	硬化期
育苗日数	2~3	13~15
温度	昼 25℃以下	夜 10℃以上

太い分げつを早くとる

質の良い分げつを早くとる
活着後、浅水管理(水深3cm)で
除草剤は適期に散布する
植付本数は3~4本で3cmの浅植にする
栽植密度は70株を確保!
田植後は5月15日を中心!
基肥は標準量を守る

6月上旬に溝掘りの実施

溝掘り前に軽い田干しの実施

中間追肥(カリ資材等)を散布する
中干し後、幼穂形成期まで間断かん水

畦畔農道等の草刈りを徹底する

幼穂形成期から出穂期まで飽水管理

分施肥体系の穂肥

- 一回目の穂肥は一回目穂肥の一週間後を目安に施用する
- 二回目の穂肥は幼穂長15ミリの頃に草丈や葉色を確認し慎重に施用する
- 一回目の穂肥は幼穂長15ミリの頃に草丈や葉色を確認し分施肥は穂肥時期までに葉色を3.6に誘導

根を十分に張らす

田面に軽く亀裂が入るほど中干しし、地耐力を高める

田植後4週間までに中干しを開始

6月上旬に溝掘りの実施

溝掘り前に軽い田干しの実施

中間追肥(カリ資材等)を散布する

中干し後、幼穂形成期まで間断かん水

畦畔農道等の草刈りを徹底する

幼穂形成期から出穂期まで飽水管理

分施肥体系の穂肥

- 一回目の穂肥は一回目穂肥の一週間後を目安に施用する
- 二回目の穂肥は幼穂長15ミリの頃に草丈や葉色を確認し慎重に施用する
- 一回目の穂肥は幼穂長15ミリの頃に草丈や葉色を確認し分施肥は穂肥時期までに葉色を3.6に誘導

倒伏させずに、登熟を高める

傾穂期防除の徹底(カメムシ類、ツマグロヨコバイ)

穂揃期防除の徹底(いもち病、ウンカ類、カメムシ類)

カドミウムの吸収抑制剤及び稲体の活力維持

出穂後20日間湛水管理

● 穂揃期の葉色を4.2~4.5に誘導(砂壌土地帯は4.5)

● 出穂後20日間の葉色が4.0以下の場合追加穂肥を施用(砂壌土地帯は4.2)

出穂7日前の葉色が4.0以下の場合追加穂肥を施用

※特にフェーンが予想される場合は事前に灌水する
刈取り7日前までの間断かん水を徹底
↓白未熟粒の発生防止

1.9mmの網目を使用し、細粒や屑米の混入を防止し良質米の出荷に努める

粗すりの前に水分を再確認する

胴割れ発生防止のため、ゆっくり乾燥する(毎時乾減率0.8%以下)

適正な乾燥で玄米水分「14.5~15.0%」

乾燥機・粗すり機等の点検整備

● 高温年は、粗黄化率80%から刈取る

● 粗黄化率85~90%頃に刈取る

青点線内の2次枝梗粉が黄化した時

おいしく仕上げる

作業確認して☐にチェックしましょう。

1.9mmの網目を使用し、細粒や屑米の混入を防止し良質米の出荷に努める

粗すりの前に水分を再確認する

胴割れ発生防止のため、ゆっくり乾燥する(毎時乾減率0.8%以下)

適正な乾燥で玄米水分「14.5~15.0%」

乾燥機・粗すり機等の点検整備

● 高温年は、粗黄化率80%から刈取る

● 粗黄化率85~90%頃に刈取る

青点線内の2次枝梗粉が黄化した時

土壌にあった施肥でおいしい米づくり

本田施肥設計例(10a当たり)

●基肥一発肥料の場合

品種名	土質	基肥		中間追肥(6月下旬)		備考
		側条施肥	基肥一発肥料	設計I	設計II	
コシヒカリ	砂質田	Jコートコシヒカリ1号	40 kg	15 kg	20~40 kg	●基肥一発肥料を使用した場合でも出穂前に葉色が濃い場合は、追加穂肥を施用しましょう。 ●基肥一発肥料はリン酸分及び加里成分が不足がちになるので、必ずエスアイ加里らくだ、またはBBPKケイ酸を施用するようにしましょう。
	壤質田	Jコートコシヒカリ2号	35 kg	15 kg	20~40 kg	
	粘質田	Jコートコシヒカリ2号	30 kg	15 kg	20~40 kg	
てんかき	砂質田	Jコート早生専用	45 kg	15 kg	20~40 kg	●基肥一発肥料はリン酸分及び加里成分が不足がちになるので、必ずエスアイ加里らくだ、またはBBPKケイ酸を施用するようにしましょう。
	壤質田	Jコート早生専用	40 kg	15 kg	20~40 kg	
	粘質田	Jコート早生専用	35 kg	15 kg	20~40 kg	
てんもり	砂質田	LPSS 晩生専用	50 kg	15 kg	20~40 kg	●基肥一発肥料はリン酸分及び加里成分が不足がちになるので、必ずエスアイ加里らくだ、またはBBPKケイ酸を施用するようにしましょう。
	壤質田	LPSS 晩生専用	45 kg	15 kg	20~40 kg	
	粘質田	LPSS 晩生専用	40 kg	15 kg	20~40 kg	

●分施肥の場合

品種名	土質	基肥・早期追肥				中間追肥(6月下旬)	穂肥	
		設計I	設計II	設計I	設計II			
新大正稲	砂質田	35 kg	30 kg	全層施肥		エスアイ加里らくだ	追肥3号	
				設計I	設計II			
				なのはな有機基肥	基肥555			
コシヒカリ	砂質田	35 kg	30 kg	基肥	早期追肥(田植後7日)	15 kg	24日	
				基肥	早期追肥(田植後7日)		10 kg	15 kg
				10 kg	10 kg		10 kg	10 kg
てんかき	砂質田	45 kg	40 kg	基肥	早期追肥(田植後7日)	15 kg	24日	
				基肥	早期追肥(田植後7日)		10 kg	10 kg
				10 kg	10 kg		10 kg	10 kg
てんもり	砂質田	50 kg	45 kg	基肥	早期追肥(田植後7日)	15 kg	24日	
				基肥	早期追肥(田植後7日)		10 kg	10 kg
				10 kg	10 kg		10 kg	10 kg

※大豆跡田は、基肥量を5~7割減らし、倒伏に強い品種の作付に努めましょう。又、土壌改良材を必ず施用しましょう。

適正な農薬使用で安心な米づくり

病害虫防除体系

基本防除体系の徹底

● 苗箱施薬(1箱当たり50g)
※ただし高密度に播種する場合は、1kg/10a(育苗箱1箱当たり50~100g)

● ブーンレバード箱粒剤
又は、スタウトアレモンガルス箱粒剤

● いもち病
● 紋枯病
● 白葉枯病
● イネドロオイムシ
● イネニムズムシ
● ニカメイチュウ

● 穂揃期(10a当たり3~4kg)
● ラブサイドクラブ粉剤DL(収穫14日前まで)

● いもち病
● ウンカ類
● カメムシ類

● 傾穂期(10a当たり3~4kg)
● トレボンスター粉剤DL(収穫7日前まで)

● カメムシ類
● ツマグロヨコバイ

水稲除草体系

代かき 田植え 5日 10日 15日 20日 25日 30日

体系処理

一発処理

除草剤の効果を高める7つのポイント

- 代かきはていねいに行い、ほ場の均平に努める。
- 代かき後に気温が高いと雑草の発生・生育が早まるので、遅れずに散布する。
- 代かきから田植えまでの期間を長くしない。
- 湛水状態で散布する場合は水の出入りを止め、5cm程度の水深を保ち散布する。
- 除草剤散布後は、5日間程度湛水状態を保つ。
- 散布後7日間は「落水」や「かけ流し」をしない「止水管理」とし、水田外への流亡を防ぐ。
- 田植同時散布機(こまきちゃん、インペーター等)を使用する場合は、薬剤によって粒径や比重が異なる散布量が変わるので散布機の調整を必ず行い、適量を散布する。

農薬の適正使用について ~ 農薬は使用基準を守り、正しく使しましょう! ~

- 農薬の使用前に、ラベルの内容を確認し、使用基準を必ず守って使用して下さい。
- 使用時期、使用量及び使用回数などの使用方法を遵守し、適正に使用して下さい。
- 散布は周囲への飛散を防ぎ、適用作物以外の作物にかからないように、風向きや風速に注意して行いましょう。

なのはな米の仕上げはカントリーで!

1. 良質米の出荷に努めています。
● 均て高品質、おいしい米に仕上げます。
● 消費者へ今摺米として出荷します。

2. 生産コストの低減につながります。
● 個人で乾燥機や粗すり機を所有しないため、農機具代が低減できます。

3. 作業の省力化ができます。
● 乾燥、粗すり、袋詰、出荷作業等から解放されます。
● コシヒカリの刈取能力を最大に活かせ、刈取期間が短縮できます。

なのはな農協では電子メールによる営農情報の提供を行っています。(登録は無料です)

営農情報提供サービスへの登録はこちらから
http://argo-navi.net/ja/mb_login.php

● 栽培管理情報
● 緊急的な気象情報と災害防止対策
● 緊急的な管理情報
● その他必要と思われる情報